

K P I (※) の設定に関して

※KPI : Key Performance Indicator, 定量的な数値目標

1. KPI 設定の必要性

- 連携法等の改正を踏まえ、改革の進捗の検証のため、K P I を設定し、進捗把握することが必要。
- その点国会においても、文科省より答弁。

(参考) 国会議事録

【第 198 回国会 衆議院 文部科学委員会 第 12 号 平成 31 年 4 月 24 日】

- 伯井政府参考人 …数値目標でございますが、平成二十七年六月の法曹養成制度改革推進会議決定におきまして、累積の合格率、法科大学院卒業生の累積合格率が、おおむね七割以上合格できるよう充実した教育を目指すということとされております。
- 伯井政府参考人 …さらに、今回の法改正をお認めいただき、法科大学院教育の充実を図るということを踏まえまして、今後、中教審において、更に数値目標を設定し、検証していきたいというふうに考えております。

【第 198 回国会 衆議院 文部科学委員会 第 14 号 令和元年 5 月 8 日】

- 柴山国務大臣 本改正案によって、…各法科大学院における教育が充実することなどによって、法曹志願者が増加をするとともに、法科大学院修了者の司法試験合格率も増加するということが実現をして、一人でも有為な人材が法曹を目指し、プロセスとしての法曹養成を経て法曹となることが成功であるということになるかと思う…法科大学院への入学者数や司法試験合格率といった数値目標はしっかりと設定をして、継続的に把握、検証を行って、そういった法改正の趣旨が実現されるようしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

2. 現状等

(1) 法曹養成制度改革の更なる推進について

(平成 27 年 6 月 30 日法曹養成制度改革推進会議決定) (抜粋)

第3 法科大学院

1 法科大学院改革に関する基本的な考え方

- 平成 27 年度から平成 30 年度までの期間を法科大学院集中改革期間と位置付け、法科大学院の抜本的な組織見直し及び教育の質の向上を図ることにより、各法科大学院において修了者のうち相当程度（※）が司法試験に合格できるよう充実した教育が行われることを目指す。

※ 地域配置や夜間開講による教育実績等に留意しつつ、各年度の修了者に係る司法試験の累積合格率が概ね 7 割以上。

(2) 累積合格率

平成 26 年度修了者の 5 年目までの累積合格率は、全体で 64.8%

- ・法学既修者は 74.0%
- ・法学未修者は 49.5%

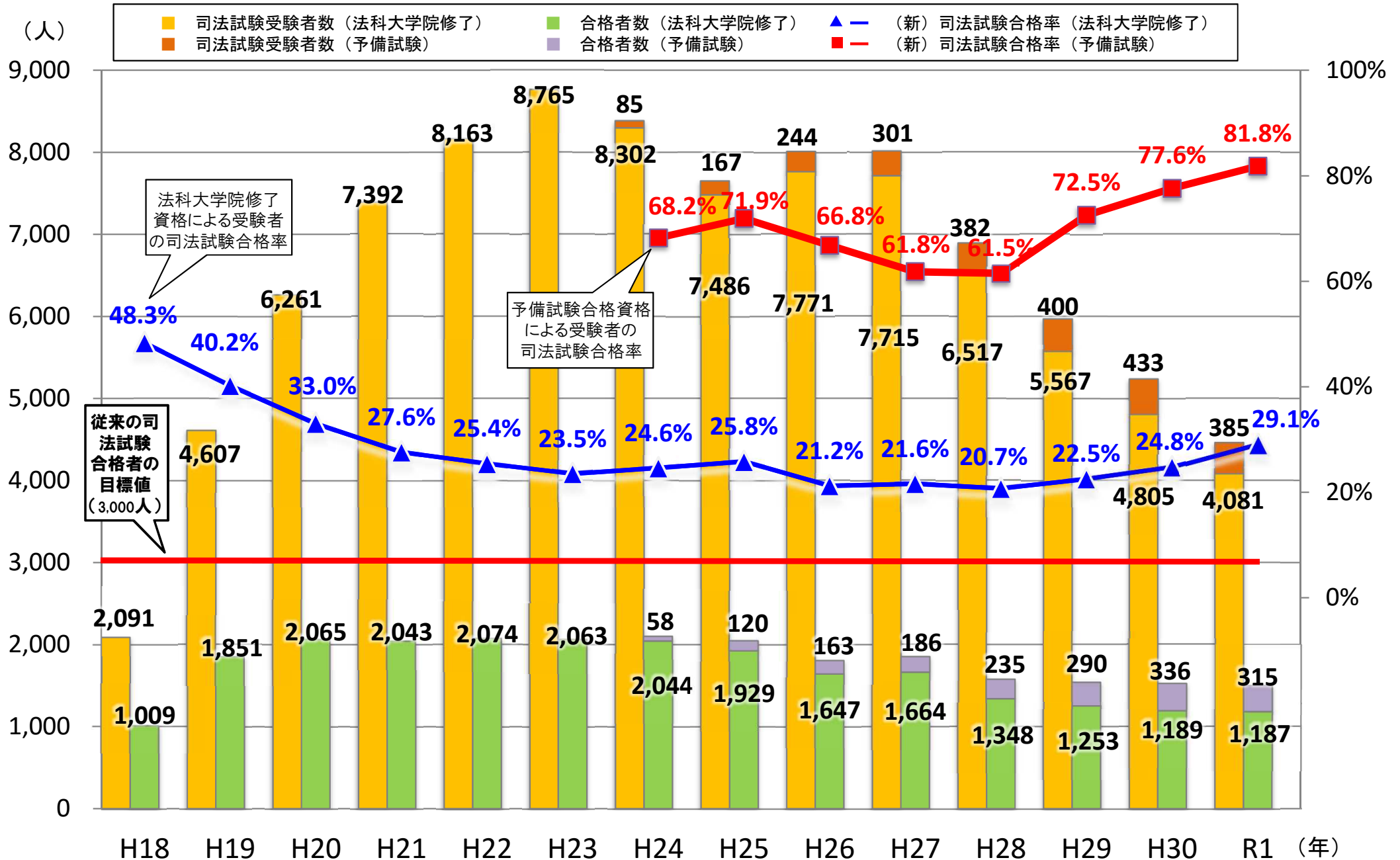
(3) 「法科大学院公的支援見直し強化・加算プログラム」においては、平成 31 年度評価において、令和 5 年度中の KPI（共通指標）として、大学毎に以下の項目を設定。

- ① 修了後 1 年目の司法試験合格率
- ② 標準修業年限修了率

(4) 法曹コース修了者については、法科大学院修了後 1 年目で少なくとも 7 割以上（※）合格するような法曹コースや特別選抜の規模の設定を文科省より説明会において各法科大学院に依頼。

※過去の早期卒業・飛び入学者の修了直後合格率（57.9%）を上回る水準。

司法試験合格率のこれまでの推移



※平成18年の受験者は、法学既修者コースの修了者のみ。

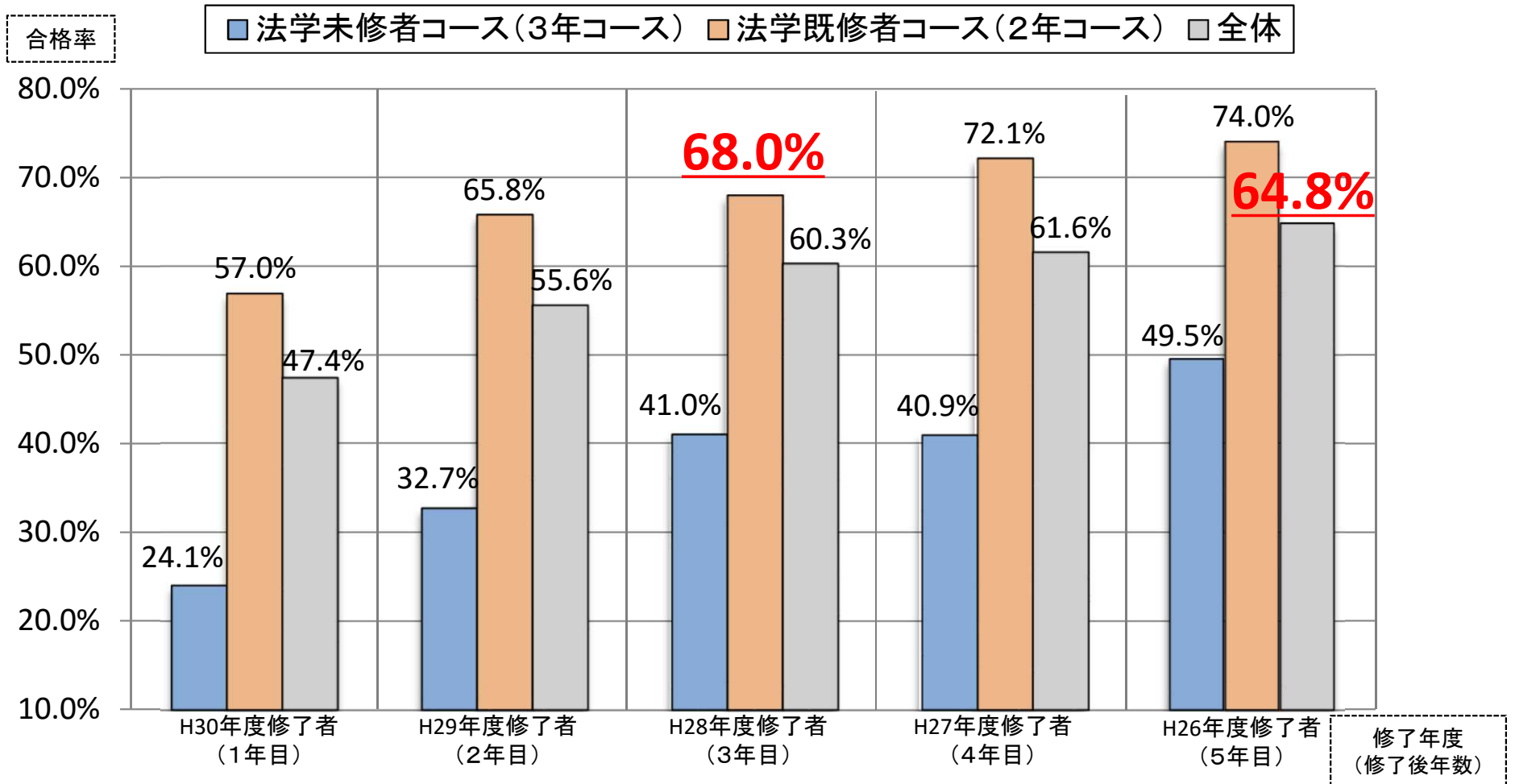
【令和元年試験の結果：29.1%】

法学既修者：40.01% 法学未修者：15.64%

直近の修了年度別司法試験累積合格率

全体の累積合格率（■）は修了後5年目でも7割には達していない。

一方、法学既修者コース修了者（■）は修了後3年目で約7割に達している。



※ 募集停止・廃止校を除く35校を対象として、令和元年司法試験までのデータを用いて算出している。（令和元年9月時点）

※ 司法試験累積合格率は、法科大学院修了者数のうちの司法試験実受験者数を用いて算出している。

早期卒業・飛び入学制度の状況

- 早期卒業・飛び入学制度を活用して入学した学生の司法試験合格率(※)は、64.1%であり、法科大学院修了者全体の司法試験合格率よりも高くなっている。
- 早期卒業・飛び入学制度を活用して既修者コースに入学した学生の法科大学院修了後1年目の司法試験合格率(※)は、57.9%であり、既修者コース修了者全体の修了後1年目の司法試験合格率よりも高くなっている。

※平成17～30年度修了者の司法試験合格率

司法試験合格状況について

	平成17～30年度修了者の司法試験合格状況			うち早期卒業・飛び入学により入学した者の司法試験合格状況		
	修了者数[人] (全体に占める割合)	合格者数[人] (全体に占める割合)	合格率	修了者数[人] (全体に占める割合)	合格者数[人] (全体に占める割合)	合格率
未修者コース	22,675 (49.4%)	7,880 (33.7%)	34.8%	478 (1.0%)	298 (1.3%)	62.3%
既修者コース	23,235 (50.6%)	15,486 (66.3%)	66.6%	171 (0.4%)	118 (0.5%)	69.0%
計	45,910 (100%)	23,366 (100%)	50.9%	649 (1.4%)	416 (1.8%)	64.1%

(参考:法科大学院修了後1年目の司法試験合格状況について)

	平成17～30年度修了者における法科大学院修了後1年目の司法試験合格状況			うち早期卒業・飛び入学により入学した者の司法試験合格状況		
	修了者数[人] (全体に占める割合)	合格者数[人] (全体に占める割合)	合格率	修了者数[人] (全体に占める割合)	合格者数[人] (全体に占める割合)	合格率
未修者コース	22,675 (49.4%)	3,769 (27.0%)	17.0%	478 (1.0%)	198 (1.4%)	41.4%
既修者コース	23,235 (50.6%)	10,183 (73.0%)	45.8%	171 (0.4%)	99 (0.7%)	57.9%
計	45,910 (100%)	13,952 (100%)	31.4%	649 (1.4%)	297 (2.1%)	45.8%

入学者数の推移(法学系課程関係)

